

技術確認圃 報告書 記入例(水稻除草剤(畦畔・耕起前・刈跡))

薬剤名 ○○水和剤
 県名 ○○県

作物 水田作物
 実施場所 ○○普及センター(○○町)

区分 畦畔

圃場/面積	標高	土質土性	品種	作期	栽培方法	移植日	減水深
確認圃 30 a	—	壤土	ヒ/ヒカリ	普通期	移植栽培	20○○年5月20日	2 cm/日
慣行 30 a	—	壤土	ヒ/ヒカリ	普通期	移植栽培	20○○年5月20日	2 cm/日

圃場 (面積)	処理 回数	薬剤名 薬量(水量) (/10a)	処理日	処理方法	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)	殺草経過
確認圃	処理 1回目	○○水和剤 250 g(100L)	4月5日	動力噴霧器	メヒシバ 10cm、ギシギシ 5cm、 スギナ 5cm	処理14日後にメヒシバは枯死。ギシギシ、スギナの生育は抑制され、雑草の発生も少なかった。
	処理 2回目	処理に用いた機器を記入。				
	処理 3回目					
慣行	処理 1回目	○○液剤 300mL (100L)	4月5日	動力噴霧器	メヒシバ 10cm、ギシギシ 5cm、 スギナ 5cm	処理14日後にメヒシバは枯死。10日後から雑草の発生および残草個体の再生が目立った。
	処理 2回目				効果の発現、効果の完成と完成時の状態、再生、後発生の有無等を記入。	
	処理 3回目				処理後の日数を記入。	

圃場	除草効果 (残草量: 生重量 (g/m ²))								雑草調査日: 5月10日 (処理35日後)			作物への影響	評点	
	イネ科一年生				非イネ科一年生				多年生雑草					
	メヒシバ	イヌビエ			ホトケ/ザ	イハコハ			ギシギシ	スギナ		総計 <small>下段()は慣行区比</small>	抑草期間	
確認圃	7.9	11			0	+								
慣行	19	21			13	8.8								
備考	処理時の状況及び所感(特記事項等含む): 散布準備時間:○分、散布時間:○分、散布人数:○人 農家のコメント:慣行区に比べ除草効果が高く、今後も使用していきたい。 ・処理時の情報(散布時間、作業人数、農家のコメントなど)があれば記入する。 注)散布準備時間、散布時間を記載する場合は確認圃で実際にかかった時間を記入し、10a当たりなどに換算している場合は、○/10aのように記入する。 評点が「-」の場合、その理由を記入する。 気象条件、雑草発生状況等で通常と異なることがあれば記入する。													